

◆セルフトレーニング問題2022◆

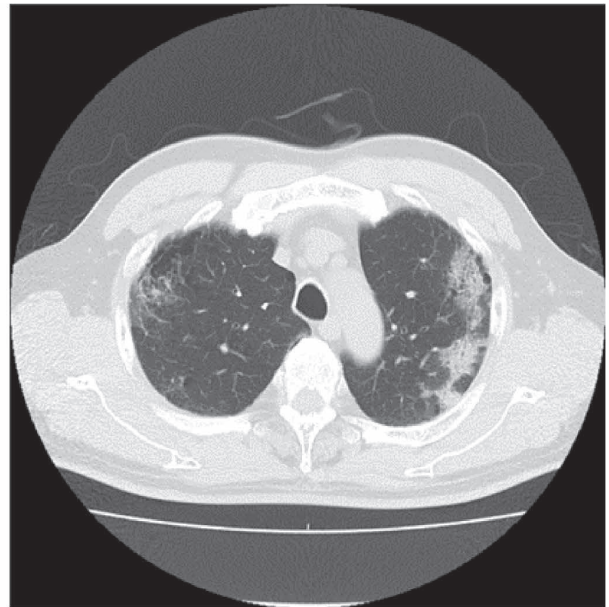
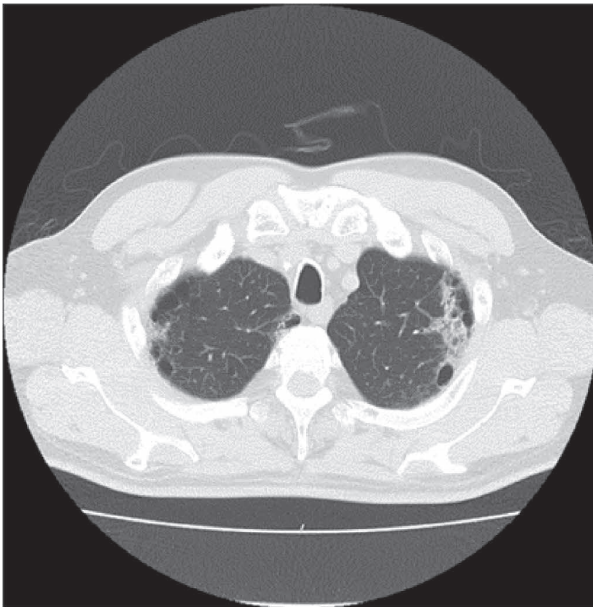
■ 問題 ■

問題 1 腹部超音波検査で腎に血管筋脂肪腫が見られた。特に留意すべき他の検査項目はどれか。2つ選べ。

- (a) 頭部 MRI
- (b) 心電図
- (c) 胸部 X 線検査
- (d) 上部消化管内視鏡検査
- (e) 便潜血反応

問題 2 CT 画像所見から正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 空洞を有しており，肺結核を疑う所見である。
- (b) 多発したブラと気腫性変化を認める。
- (c) 両側上葉に肺炎像を認め，COVID-19肺炎を疑う。
- (d) 肺炎・胸膜炎の合併と気胸の所見を認める。
- (e) エアーブロンコグラムを認め，肺炎球菌性肺炎を疑う。



問題 3 45歳の女性。3ヶ月前に左乳頭の単孔性血性分泌に気づくも放置していた。次第に分泌量が増えてきたため、受診した。マンモグラフィでは、腫瘤陰影は認めなかったが、左乳房乳頭直下に多形性の石灰化を区域性に認めた。乳房超音波検査では、明らかな異常所見は認めなかった。分泌液中のCEAを測定したところ、400ng/mL以上であった。原因として最も考えられるのはどれか。1つ選べ。

- (a) 乳腺症
- (b) 乳腺葉状腫瘍
- (c) 悪性リンパ腫
- (d) 非浸潤性乳管癌
- (e) サルコイドーシス

問題 4 「個人情報保護法」について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 経済協力開発機構（OECD）8原則への対応がとられている。
- (b) 病歴も「要配慮個人情報」である。
- (c) 個人情報の取扱いルールは、国の機関や地方自治体の法的対応にも適用される。
- (d) 個人情報を取り扱う対象業者は小規模な事業者も含めてすべての事業者に適用される。
- (e) 人の生命、身体または財産の保護に必要な場合で、本人の同意が困難な時には、本人の同意なく個人情報を提供できる。

問題 5 肺がんの罹患率（2019年）と死亡数（2020年）について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 肺がんの罹患率は、男性で第1位である。
- (b) 肺がんの罹患率は、女性で第3位である。
- (c) 肺がんの死亡数は総数で第1位である。
- (d) 肺がんの死亡数は男性で第1位である。
- (e) 肺がんの死亡数は女性で第2位である。

問題 6 先天性心疾患に対する心血管修復術後に消失しやすい所見はどれか。1つ選べ。

- (a) 左軸偏位
- (b) 右軸偏位
- (c) 房室伝導障害
- (d) 洞機能異常
- (e) 心房粗細動

問題 7 令和 2 年 5 月 1 日に公表された、8 団体による健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策において、誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- (a) 職員は、体調不良を自覚する時にのみ体温測定を行う。
- (b) 受診者は、健康診断の間マスクを着用する。
- (c) 生理機能検査では、受診者の手などが触れる箇所を受診者の検査終了ごとにアルコール消毒液で清拭する。
- (d) 全ての職員はマスクを着用するとともに、受診者 1 人毎に対応した後、石鹸を用いた手洗いあるいはアルコール消毒液による手指消毒を行う。
- (e) 施設内の職員休憩室、ロッカー室においても、3 密（密閉・密集・密接）を避け、部屋の換気に努める。

問題 8 特定健康診査の対象者とならないのはどれか。1 つ選べ。

- (a) 医療保険料未納者
- (b) 刑務所入所中の者
- (c) 在宅の知的障害者
- (d) 脳梗塞の既往がある者
- (e) 特定健診の実施年度中に 75 歳になる者

問題 9 定期健診の採血を昼食後に実施した結果 TC287mg/dL, TG680mg/dL, HDL-C26mg/dL であった。評価方法について正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (a) Friedewald 計算式による LDL-C125mg/dL
- (b) Friedewald 計算式による LDL-C261mg/dL
- (c) non-HDL-C125mg/dL
- (d) non-HDL-C261mg/dL
- (e) LDL-C 直接法による評価が望ましい。

問題 10 網膜に骨小体様色素沈着を認めた際にまず疑うべき疾患は何か。1 つ選べ。

- (a) 中心性漿液性網脈絡膜症
- (b) 加齢黄斑変性
- (c) 網膜静脈分枝閉塞症
- (d) 糖尿病網膜症
- (e) 網膜色素変性

問題11 婦人科がん検診について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 子宮頸がん対策型検診の対象年齢は20歳以上の女性すべてである。
- (b) 子宮体がん対策型検診の対象年齢は50歳以上の女性すべてである。
- (c) 乳がん対策型検診の項目は問診およびX線検査である。
- (d) 乳がん対策型検診の対象年齢は30歳以上の女性すべてである。
- (e) 卵巣がん早期発見には超音波診断と腫瘍マーカーの組み合わせが有用である。

問題12 産業保健における過重労働対策として不適切なものはどれか。1つ選べ。

- (a) 時間外労働時間の削減
- (b) 年次有給休暇の取得促進
- (c) 担当業務目標達成の徹底
- (d) 健康診断結果に基づく事後措置
- (e) 長時間労働者への医師による面接指導

問題13 高コレステロール血症をきたさないのはどれか。1つ選べ。

- (a) Addison病
- (b) 褐色細胞腫
- (c) Cushing症候群
- (d) ネフローゼ症候群
- (e) 原発性胆汁性胆管炎

問題14 遺伝形式について正しいのはどれか。2つ選べ

- (a) 常染色体優性遺伝で親のどちらかが病的バリエーションを持っている場合には、それが子供に受け継がれる確率は性別にかかわらず1/2である。
- (b) 健常人が常染色体劣性遺伝の病的キャリアである確率は1/2以下である。
- (c) X連鎖性(劣性)遺伝は男性に発症し、その原因となる病的バリエーションは母親由来である。女性の保因者は発症しない。
- (d) 常染色体優性遺伝では必ずどちらかの親が病的バリエーションを持っている。
- (e) 「優性遺伝」「劣性遺伝」に代わって「顕性遺伝」「潜性遺伝」が推奨されている。

問題15 PSA検診の普及により進行の遅い微小な前立腺がんが少なからず発見される。この欠点を補うために泌尿器科で近年普及している治療戦略名はどれか。1つ選べ。

- (a) 監視療法
- (b) 新規抗アンドロゲン剤内服治療
- (c) 強度変調放射線療法
- (d) ロボット支援前立腺全摘除術
- (e) 遺伝子治療

問題16 厚生労働省が推進する国民健康づくり運動「健康日本21」が提言する「適正飲酒量」について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 男性の適正飲酒量は1日平均純アルコールにして約20g以下である
- (b) 女性は男性の1/2-2/3量が適当である。
- (c) 顔面紅潮を来す人も同じ飲酒量を基準とする。
- (d) アルコール依存やアルコール性肝硬変の患者も適正飲酒量であれば許容される。
- (e) 飲酒習慣のない人も、適正飲酒量が推奨される。

問題17 50歳男性、健診で汎血球減少を指摘された。末梢血の血算の検査結果は、白血球 $3,000/\mu\text{L}$ 、赤血球 $305万/\mu\text{L}$ 、Hb 9.2g/dL 、Ht 28.0% 、血小板 $9.2万/\mu\text{L}$ であった。考えられない疾患はどれか。1つ選べ。

- (a) 肝硬変症
- (b) 慢性閉塞性肺疾患
- (c) 本態性門脈圧亢進症
- (d) 発作性夜間ヘモグロビン尿症
- (e) 全身性エリテマトーデス (SLE)

問題18 高齢者の肥満の特徴として正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 加齢とともにBMI (Body Mass Index) は増加する。
- (b) 加齢とともに内臓脂肪は減少する。
- (c) 加齢とともに肥満にサルコペニアが合併したサルコペニア肥満が増加する。
- (d) 加齢とともにメタボリックシンドロームの頻度は低下する。
- (e) サルコペニア肥満は、単なる肥満と比べて、死亡のリスクが高い。

問題19 68歳の男性。8年前から人間ドック健診で高血圧と糖尿病が毎年受診勧奨レベルであったが、医療機関を受診していなかった。昨日早朝に胸背部違和感および冷汗を自覚したが、翌日人間ドック健診受診予定のため、様子を見ていた。人間ドック健診受診時に右上肢血圧 $148/72\text{mmHg}$ 、左上肢血圧 $194/112\text{mmHg}$ 。心拍数 $120/\text{分}$ 、不整。呼吸数 $20/\text{分}$ 。経皮的酸素飽和度 98% (room air)。12誘導心電図でII、III、aVFのST上昇、V4-6のST低下および心室性期外収縮の頻発を認めたため、診察医判断で当日人間ドック健診を中止とした。可能性の高い心臓血管疾患はどれか。2つ選べ。

- (a) 高安動脈炎
- (b) 急性心膜炎
- (c) 急性心筋梗塞
- (d) 急性大動脈解離
- (e) 急性肺血栓塞栓症

問題20 うつ病について、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 心筋梗塞に合併する頻度は20%前後で、うつ病に至らない抑うつ状態は35%前後とされている。
- (b) うつ病を併発する心筋梗塞患者の6カ月後の死亡率は、抑うつ症状をもっていない患者に比べ5倍以上である。
- (c) 選択的セロトニン再取り込み抑制薬が心筋梗塞を伴う大うつ病性障害の抑うつ症状を改善するが、心筋梗塞再発率改善効果は有意ではない。
- (d) 心不全患者にうつ病が合併すると死亡リスクが2.1倍上昇する。
- (e) うつを合併する高血圧患者は、合併しない患者に比べ心不全の発症リスクが2.5倍以上高いと報告されている。

問題21 白衣高血圧について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 高齢者に少ない。
- (b) 診察室外血圧が高い場合が多い。
- (c) 未治療患者、治療患者にかかわらず使用される用語である。
- (d) 診察室血圧で140/90mmHg以上の高血圧と診断された患者の約40%を占める。
- (e) 持続性高血圧と比較し臓器障害は軽度で、脳心血管病予後も良好とする報告が多い。

問題22 脳小血管病（無症候性脳梗塞や高度白質病変例）について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 出血性脳卒中を起こすことも多い。
- (b) 全例に抗血小板薬投与を推奨はできない。
- (c) 頸動脈高度狭窄例では、出血リスクの低い抗血小板薬が勧められる。
- (d) 冠動脈疾患、糖尿病、脂質異常例ではスタチン投与も考慮する。
- (e) 脳小血管病は認知機能低下とは無関係である。

問題23 2型糖尿病を合併した非アルコール性脂肪肝炎（NASH: nonalcoholic steatohepatitis）に使用するのに、不適切な薬剤はどれか。1つ選べ。

- (a) DPP-4（dipeptidyl peptidase-4）阻害薬
- (b) ピオグリタゾン
- (c) GLP-1（glucagon-like peptide-1）受容体作動薬
- (d) SGLT（sodium glucose cotransporter）2阻害薬
- (e) グリニド製剤

問題24 A群, B群, C群の2群について, A対B, A対C, B対Cのすべてについて2標本t検定(危険率5%)を行った場合, 全体としての危険率がいくらになるか. 1つ選べ. ただし, 結果が整数とならない場合は, 小数点以下第一位を四捨五入した値とする.

- (a) 5%
- (b) 10%
- (c) 12%
- (d) 14%
- (e) 17%

問題25 67歳男性. 人間ドック健診で胸部X線写真(正面, 側面)を撮影した. 画像所見およびその後の対応で, 最も適切と考えられるのはどれか. 1つ選べ.

- (a) 異常所見を認めない.
- (b) 異常所見を認めるが, 精密検査の必要はない.
- (c) 治療が必要な活動性肺結核と考えられる異常所見を認めるので, 精密検査が必要.
- (d) 治療が必要な活動性非結核性肺病変と考えられる異常所見を認めるので, 精密検査が必要.
- (e) 治療が必要な肺がんと考えられる異常所見を認めるので, 精密検査が必要.

